

学び続ける。
よりよく生きる。

福山市立神辺中学校

2025 年度（令和 7 年度）

学 校 要 覧

住所 〒720-2121 広島県福山市神辺町湯野 1313 番地

TEL 084-962-0400 Fax 084-962-0339

URL <http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/chu-kannabe/>

Mail chu-kannabe@manabi.city.fukuyama.hiroshima.jp

学校教育目標

よりよく生きる力の育成 ～主体・自律・奉仕・信頼～

■育成する力

共に学び、共に支え合いながら、未来を切り開き、地域・社会に貢献する生徒

■めざすこども像

①学びに向かう力	②コミュニケーション力	③課題設定・解決力
新しいことを知りたいと思った り、問題について考えたりしたい と思う。	自己表現をすることができる。友 人と適切な関係を持ち、おりあい をつけることができる。	課題を見つけるだけではなく、適 切にテーマを設定し自ら解決で きる。

■研究テーマ

「主体的に学ぶ生徒の育成 ～伸びの実感を全生徒に～」

■大切にしたいこと

自分の「伸び実感」のある学び

「主体」

・学習者主体の学び

生徒が何のために学ぶのか、ど
のようにして学ぶのかを理解
し、教師は個に応じた学びや協
働的な学びをふまえた授業を
行う

「信頼」

・開かれた学校づくり

校内や校外における取組を
情報発信する
不祥事防止に向けた取組を
行う

「自律」

・自己指導力の育成

様々な役割に対して責任をも
って最後まで取り組むことが
できるよう仕組む
基本的生活習慣を確立できる
生徒を育成する

「奉仕」

・地域貢献ができる

生徒

地域について知り、地域を
大切に思う生徒を育成する

そのために…

教育環境の充実

そのために…

保護者・地域との連携

そのために…

信頼される教職員

神辺中学校の学び(重点取組)

- (1) 生徒が「何を学ぶか」「どう学ぶか」の視点で教材研究を土台として学びをつくる。
- (2) 生徒の主体的な活動を支える。(授業で、委員会で、部活動で、掃除で…あらゆる場面で)
- (3) 「時を守り、場を清め、礼を尽くす」から学校生活をよりよくする。
- (4) 地域からの信頼を得る学校をつくる。(通信やたよりの発信、不祥事の防止、地域人材の活用など)
- (5) 読書活動を学びの起点にできる場面をつくる。

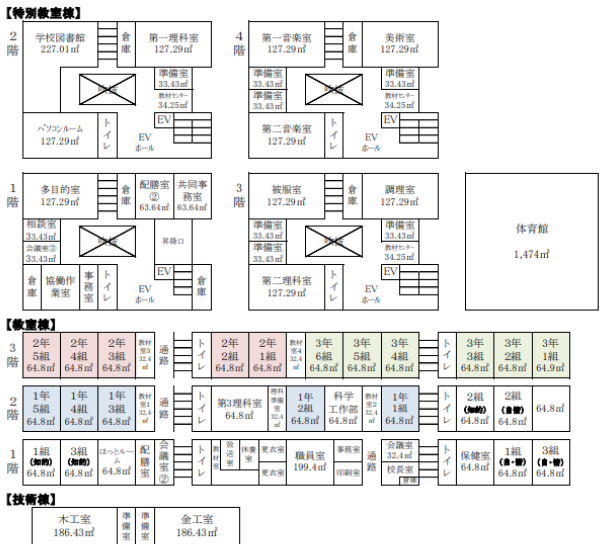
[教職員一覧]

職 名 等	教科等	担任/役割等	分 掌	部活動
校 長	英 語	—	総 務	—
教 頭	社 会	—	総 務	—
総括事務長	—	—	総 務	—
教諭〔教務主任〕	社 会	ほっとルーム担任	教 務（総 務）	野球部
教諭〔1学年主任〕	国 語	1学年 学年担任	生徒指導	バスケットボール部男子
教 諭	国 語	1学年 担任	教 務	バドミントン部
教 諭	音 楽	1学年 担任	生徒指導	吹奏楽部
教諭〔道德教育推進教員〕	理 科	1学年 担任	教 務	（剣道）
教 諭	保健体育	特別支援学級担任	生徒指導	ソフトテニス男子
教 諭	保健体育	特別支援学級担当	生徒指導	バスケットボール部女子
教 諭	英 語	1学年 学年担任	教 務	卓球部
教 諭	社 会	1学年 学年担任	生徒指導	—
教 諭	美 術	1学年 担任	教 務	美術部
教諭〔研究主任〕	数 学	1学年 担任	教 務	バドミントン部
教諭〔2学年主任〕	社 会	2学年 担任	教 務	サッカー部
教 諭	数 学	2学年 担任	生徒指導	サッカー部
教 諭	保健体育	2学年 担任	生徒指導	バレー部
教 諭	英 語	2学年 担任	生徒指導	野球部
教 諭	国 語	2学年 担任	教 務	吹奏楽部
教 諭	理 科	2学年 学年担任	教 務	サッカー部
教 諭	社 会	特別支援学級担任	生徒指導	バスケットボール男子
教 諭	社 会	特別支援学級担任	教 務	バスケットボール部女子
教 諭	理 科	2学年 学年担任	教 務	科学工作部
教 諭	家 庭	特別支援学級担任	教 務	美術部
教諭〔3学年主任〕	技 術	3学年担任	生徒指導	ソフトテニス部男子
教 諭	理 科	3学年担任	教 務	野球部
教 諭	社 会	3学年担任	教 務	陸上競技部
教 諭	国 語	3学年担任	教 務	科学工作部
教 諭	数 学	3学年学年担任	生徒指導	陸上競技部
教 諭	英 語	3学年担任	教 務	卓球部
教 諭	数 学	3学年学年担任	生徒指導	ソフトテニス部女子
教 諭	英 語	3学年担任	生徒指導	ソフトテニス部女子
教諭〔生徒指導主事〕	保健体育	3学年学年担任	生徒指導	バレー部
教 諭	数 学	特別支援学級担任	生徒指導	（水泳）
教諭〔特別支援 Co〕	英 語	特別支援学級担任	生徒指導	（剣道）
教 諭	音 楽			（非常勤）
教 諭	美 術			（非常勤）
教 諭	英 語			（非常勤）
拠点校指導教員	数 学	—	—	—
Assistant Language Teacher	英 語	—	—	—
養護教諭〔保健主事〕	—	—	総 務	—
主 事	—	—	総 務	—
スクールサポートスタッフ	—	—	総 務	—
校務補助員	—	—	総 務	—
スクールカウンセラー	—	—	—	—
介助員	—	—	—	—
介助員	—	—	—	—
学校支援員	—	—	—	—
小中一貫教育学校図書館補助員	—	—	—	—

[生徒数・学級数の推移（6月12日現在）]

特別支援学級			
	1 年	2 年	3 年
計	1 3	1 5	9
通常学級			
計	1 6 8	1 8 7	2 1 9
学年計	1 8 1	2 0 2	2 2 8
クラス数	5 学級	5 級	6 学級
全生徒数	6 1 1		

2025年度(令和7年度) 神辺中学校教室配置図





〔校章の由来〕 外形は、八咫鏡（やたのかがみ）をかたどり、神辺の「神」を表すとともに、誕生し育てくれた郷土の天与の恩恵に感謝の心情を込めている。周囲の唐草模様は、片仮名の「べ」を七個続け「ナベ」と読み、外形の神とともに「かなべ」という校名を表している。

校章の鏡の一突端が最上位になり、境目が最下端にくるのが正しい形である。

〔神辺中学校校歌〕



一 旭ヶ丘にみどり映え
そびえ輝く学び舎よ
燃える希望に夢のせて
求め湧かせよ知恵の泉
ああ神中われらわれら
二 高屋の流れ水白く
はるか野を越え音もさやか
友ら明るく肩を組み
求め歩めよ自主の道
ああ神中われらわれら
三 古城の峯の雲は晴れ
世紀新たにひらけゆく
若い翼に幸こめて
求めはばたけ真理の空
ああ神中われらわれら

神辺中学校校歌
作詞 喜多 紀世雄
作曲 古関 裕而

〔沿革の概要〕

- 1947(昭和 22)年度 新制中学校として、中条中・神辺中・湯田中・道上中、竹尋中・御野中を設置
- 1949(昭和 24)年度 学校組合立として、神辺中、安那中に再編成
- 1952(昭和 27)年度 神辺中より分離し、中条村立中条中を開校
- 1966(昭和 41)年度 神辺・安那・中条の三中学校を神辺町立神辺中学校として統合、4月1日開校式
- 1968(昭和 43)年度 現在の地「旭ヶ丘」に校舎完成、4月8日入校式、道徳教育研究指定校(文部省)
- 1969(昭和 44)年度 校舎・体育館落成式、校旗・校歌発表
- 1971(昭和 46)年度 プール完成、テニスコート改良完成
- 1979(昭和 54)年度 心身障害児教育理解推進指定(文部省)
- 1980(昭和 55)年度 生徒増により、神辺中より分離し、神辺東中学校を新設開校
- 1981(昭和 56)年度 第1回公開授業発表会
- 1984(昭和 59)年度 生徒増により、神辺中より分離し、神辺西中学校を新設開校
- 1986(昭和 61)年度 車いす用スロープ・トイレ、エレベータ設置
- 1989(平成 元)年度 神辺中学校教育後援会結成
- 1990(平成 2)年度 25周年記念式典、制服がブレザータイプになる。
- 1993(平成 5)年度 同和教育研究校指定(文部省)
- 1996(平成 8)年度 PTA「旭ヶ丘コーラス」始まる
- 1999(平成 11)年度 「門出の石庭」設置
- 2000(平成 12)年度 「出逢い坂」命名(中3生徒より募集・決定)
- 2001(平成 13)年度 学校ホームページ開設、PTAバザー始まる
- 2004(平成 16)年度 二学期制導入(H16~H18)
- 2006(平成 18)年度 深安郡神辺町が福山市に合併したことにより、福山市立神辺中学校と改称
福山ばら祭りにて「神中ばら会」花壇が市制90周年記念花壇賞特別賞を受賞
- 2007(平成 19)年度 グラウンドトイレ新設、プール改修工事
- 2008(平成 20)年度 「弁当の日」始まる
- 2009(平成 21)年度 中学校学力向上対策事業指定(広島県、3年指定)、技術棟改修工事
- 2010(平成 22)年度 「ほんまもん体験(修学旅行)」始まる
- 2015(平成 27)年度 50周年記念式典、体育館耐震工事、「道徳教育改善・充実」総合対策事業指定(広島県)
- 2018(平成 30)年度 学力向上推進地域事業指定校(広島県) 生徒指導実践指定校(広島県)
きらりルーム設置校(福山市)
北校舎外壁工事
- 2019(令和 元)年度 特別棟校舎着工
- 2021(令和 3)年度 特別棟校舎完成
- 2022(令和 5)年度 第55回ばら花壇コンクール 「優秀賞」受賞(3年連続)
- 2025(令和 7)年度 創立60周年

